

Tajima Shinkin Bank

《たしん》の現況

2008.9

中間期レポート

たんしんは、皆様に経営内容や活動についてより一層ご理解頂き、引続き安心してお取引頂けますよう、平成20年度上半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)における主な経営状況についてご報告申し上げます。

損益の状況

平成20年9月期決算は、資産の健全性確保のため諸償却並びに諸引当金の繰入を行なうとともに、資金の効率的な運用と経営全般の合理化に努めました結果、当期純利益は3億52百万円となりました。引続き安定的な収益確保により経営基盤の強化に努めてまいります。

(単位:百万円)

	平成19年9月末	平成20年9月末
業務純益	954	733
コア業務純益	797	447
経常利益	342	483
当期純利益	292	352

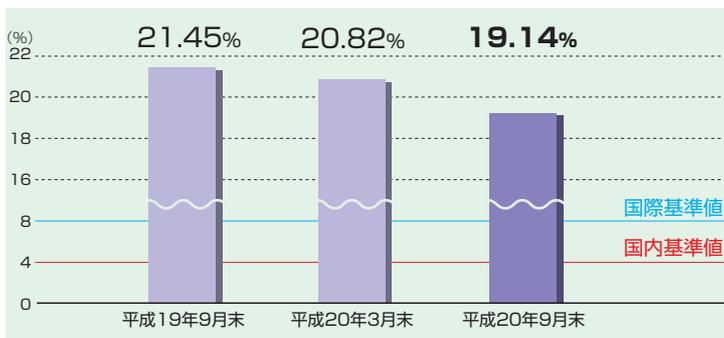
*コア業務純益は金融機関本来の業務から生ずる収益力を表すもので、業務純益から一時的な変動要因である債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

自己資本の状況等について

自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の経営の健全性を示す主要な指標の一つとされ、当金庫は、お客様に安心してお取引頂くため、自己資本の充実、自己資本比率の向上に努めております。

平成20年9月末の自己資本比率は19.14%で、引き続き高水準を維持することができました。この数値は、早期是正措置で義務付けられている国内基準(4%)を大幅に上回っております。また、金融業界でも高位置にあり、当金庫の健全性、安全性を示しております。



自己資本の充実度に関する事項

- 自己資本の充実度に関し、自己資本比率は国内基準の4%をはるかに上回っております。また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示すものとなっております。
- 特定のポートフォリオヘリリスクアセットが極度に集中していることはなく、リスクの分散が図られております。
- 自己資本充実策については、年度毎に掲げる諸計画に基づいた業務活動から得られる利益を着実に積上げることが重点としております。

(単位:百万円)

	平成20年3月末		平成20年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	150,749	6,029	158,917	6,356
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	150,749	6,029	158,917	6,356
現金	-	-	-	-
我が国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-
外国の中央政府及び中央銀行向け	15	0	14	0
国際決済銀行等向け	-	-	-	-
我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-
外国の中央政府以外の公共部門向け	621	24	628	25
国際開発銀行向け	2	0	1	0
我が国の政府関係機関向け	480	19	1,170	46
地方三公社向け	496	19	316	12
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	33,232	1,329	33,299	1,331
法人等向け	57,187	2,287	62,402	2,496
中小企業等向け及び個人向け	25,690	1,027	25,212	1,008
抵当権付住宅ローン	4,791	191	4,468	178
不動産取得等事業向け	7,632	305	8,396	335
三月以上延滞等	1,925	77	1,150	46
取立未済手形	10	0	9	0
信用保証協会等による保証付	1,163	46	1,183	47
株式会社産業再生機構による保証付	-	-	-	-
出資等	4,442	177	4,393	175
上記以外	13,055	522	16,267	650
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-
証券化(オリジネーター)	-	-	-	-
証券化(オリジネーター以外)	-	-	-	-
③複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	1	0	1	0
ロ. オペレーショナル・リスク	12,497	499	12,497	499
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	163,247	6,529	171,414	6,856

(注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」、「地方三公社向け」、「金融機関および第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。
(オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法)

粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%

直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数 ÷ 8%

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

自己資本の構成に関する事項

- 自己資本を構成する主なものは、基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)です。
- 基本的項目は会員の皆様からお預かりしている出資金や、当金庫が積み立てている特別積立金があります。
なお、その他有価証券で評価損がある場合はこれを控除することとなっています。
- 補完的項目を構成する主なものは、一般貸倒引当金です。

(単位:百万円)

項 目	平成20年3月末	平成20年9月末
(自己資本)		
出資金	865	863
うち非累積的永久優先出資	—	—
優先出資申込証拠金	—	—
資本準備金	—	—
その他資本剰余金	—	—
利益準備金	865	865
特別積立金	32,800	32,800
次期繰越金	856	1,209
その他	—	—
処分未済持分	△ 9	△ 6
自己優先出資	△ —	△ —
自己優先出資申込証拠金	—	—
その他有価証券の評価差損	△ 2,410	△ 3,742
営業権相当額	△ —	△ —
のれん相当額	△ —	△ —
企業結合により計上される無形固定資産相当額	△ —	△ —
証券化取引により増加した自己資本に相当する額	△ —	△ —
基本的項目(A)	32,968	31,989
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額	—	—
一般貸倒引当金	1,027	827
負債性資本調達手段等	—	—
負債性資本調達手段	—	—
期限付劣後債務及び期限付優先出資	—	—
補完的項目不算入額	△ 7	—
補完的項目(B)	1,020	827
自己資本総額[(A)+(B)](C)	33,988	32,817
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	2,700
負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの	—	—
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	—	2,700
非同時決済取引に係る控除額及び信用リスク削減手法として用いる保証又はクレジット・デリバティブの免責額に係る控除額	—	—
基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー及び信用補完機能を持つI/Oストリップス(告示第247条を準用する場合を含む。)	—	—
控除項目不算入額	△ —	△ 2,700
控除項目計(D)	—	—
自己資本額[(C)-(D)](E)	33,988	32,817
(リスク・アセット等)		
資産(オン・バランス項目)	147,228	155,352
オフ・バランス取引項目	3,521	3,564
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	12,497	12,497
リスク・アセット等計(F)	163,247	171,414
単体Tier1比率(A/F)	20.19%	18.66%
単体自己資本比率(E/F)	20.82%	19.14%

(注) 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に定められた算式に基づき算出しております。
なお、当金庫は国内基準を採用しております。

預金・貸出金の状況

預金の状況

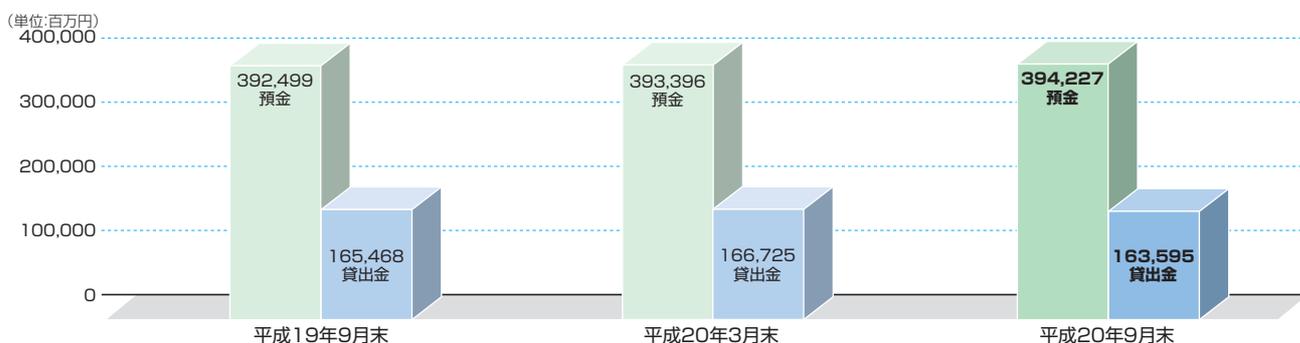
預金残高については、平成20年3月末に比べ流動性預金は7億74百万円減少しましたが、定期性預金は金利優遇定期預金等の推進により16億27百万円増加し、全体では8億30百万円増加しました。

貸出金の状況

たはしは裾野金融に徹し、地元で資金を必要とするお客様に融資を行い、事業の繁栄や生活レベル向上のお手伝いをすることで貸出金の増加に努めておりますが、依然として厳しい地域経済の現況から、資金需要は弱く平成20年3月末に比べ31億30百万円減少しました。

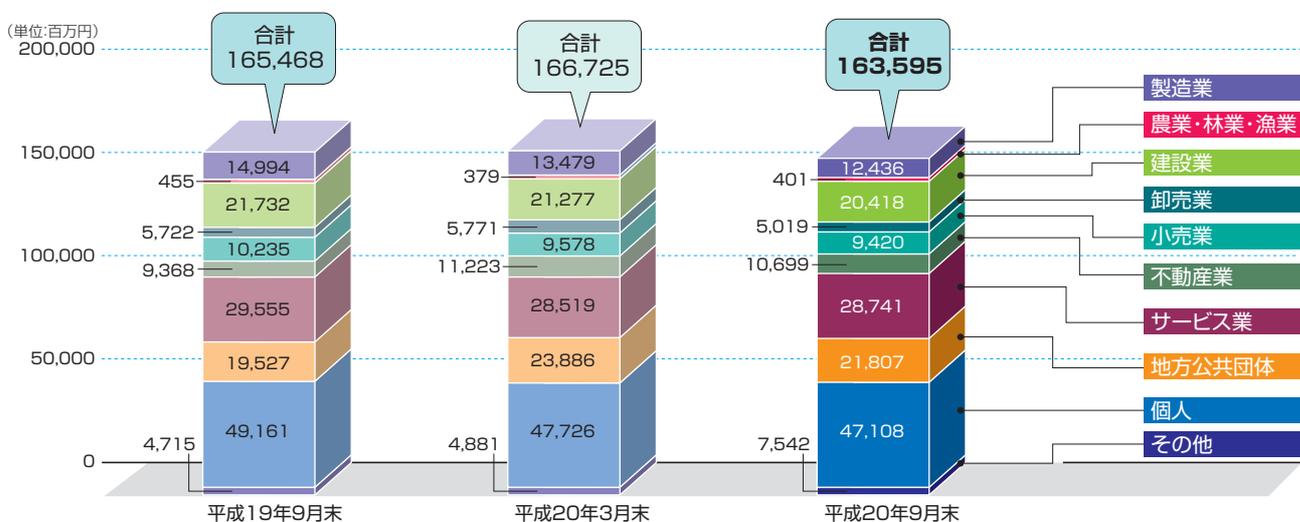
	平成19年9月末 残高	19年3月末 対比	平成20年3月末 残高	19年9月末 対比	平成20年9月末 残高	20年3月末 対比
預金	392,499	0.79	393,396	0.22	394,227	0.21
貸出金	165,468	▲ 2.90	166,725	0.75	163,595	▲ 1.87

(単位:百万円・%)



貸出金の業種別内訳

たはしは、地域経済の繁栄と活性化に資するため、お客様の多様な資金ニーズにお応えし、特定の業種や地域に偏ることなく、幅広い業種に対してご融資しています。



当金庫は地域経済の活性化や地域社会の発展に寄与できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域・社会貢献活動

財団法人たんしん地域振興基金の活動

「助成先決定」通知書交付式(5月20日)



但馬地域の活性化にお役に立てよう、地域社会活動や産業活性化活動を行う諸団体に対し、毎年、助成金を交付しています。(今年度は9団体199万円)

「たんしん経営塾」第8期開講式を開催(9月18日)



但馬地域の産業の明日を担う若手経営者の育成をお手伝いするために「たんしん経営塾」を開講し、定期的・継続的な勉強会と異業種交流を図っています。また、OB会を組織し、

現在約120名が会員となっています。

経営者セミナーの開催

地域の商工会等と連携し、中小企業経営者のための各種セミナーを開催しました。(9月~10月)

■事業承継セミナー

講師：大島康義 氏
(後継者経営戦略研究所 代表)
講師：瀬能一郎 氏
(中小企業診断士)



■創業支援セミナー

講師：大林賢一 氏
(株)オーシスマップ 代表)

経済講演会の開催(10月15日)

「地域発!どうする日本」~20年後の但馬モデルを求めて~

講師：金子 勝 氏(慶應義塾大学経済学部教授)

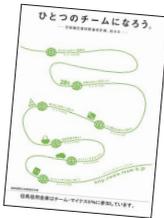
テレビでもご活躍の金子教授を招き、将来の但馬地域のあり方を考える身近なテーマで講演会を開催しました。経営者および地域住民の方々に多数ご参加いただきました。



CSR(企業の社会的責任)活動の推進

■「チーム・マイナス6%」への参加(8月より)

地球温暖化の一因とされる温室効果ガスを抑制するための日本政府が推進するプロジェクト「チーム・マイナス6%」へ参加し、冷暖房時の室温設定温度の統一等の活動を行っています。



■AED(自動体外式除細動器)の全店設置

心臓発作など心停止状態に対し、心拍を回復させる装置「AED」を全店に設置し、来店者や通行者の緊急事態に備えています。

■「コウノトリ基金」への寄付活動に参加

職員用飲料水自動販売機の売上の一部を寄付しています。

■「献血」や「清掃作業」を実施

●地域の事業である「献血」活動へ毎年、積極的に協力しています。(10月6日)
●毎年、「信用金庫の日」にちなみ、全店一斉に地域の清掃作業を実施しています。(6月14日)
このほか、地域のまつりへの協賛、参加をしています。



商品・サービスの充実

「リフォームローン」「リフォームローン快適ライフII」キャンペーン実施中



「子育て世帯の方」「エコ住宅または住宅ローン・住宅支援機構ご利用の方」等、お取引状況に応じて金利を優遇しております。
キャンペーン期間:平成21年3月31日まで

「金利優遇定期預金」で金利上乘せサービスを実施

6ヶ月定期預金の店頭表示金利に、年0.30%(ATM扱い)は年0.35%を上乘せします。(個人対象、当初預入期間のみ)

金利:窓口扱い 年0.47%
ATM扱い 年0.52% (平成20年11月25日現在)

預入金額:10万円以上1000万円未満

キャンペーン期間:平成20年12月31日まで

キャッシュコーナー「延未出張所」の新設

新店舗開設に先立ち、平成20年11月26日オープン



場所:姫路市東延未2丁目136番地
(JR姫路駅南側)

利用時間:平日 午前8:45~午後8:00
土・日・祝日 午前8:45~午後6:00

おしらせ

「経営者セミナー」開催のお知らせ



■「1年で儲かる会社にしようじゃないか」

講師:未来事業株式会社

代表取締役 吉岡憲章 氏

開催日:平成20年12月4日(木) 13:30~15:30

場所:じばさん但馬5階 豊岡靴協会ホール

大谷流 ココロの元気のつくり方

■「感じて・興味を持って・動く」人づくり!

講師:有限会社志縁塾

代表取締役 大谷由里子 氏

開催日:平成21年1月26日(月) 14:30~16:30

場所:じばさん但馬2階 多目的ホール



経営者、事業主の方々の参加申込を受け付けております。お気軽にお申し出下さい。

金融犯罪への対応について

近年、口座の不正開設・不正利用やキャッシュカードの盗難・偽造、「振り込め詐欺」等により、不正に預金を引き出す犯罪が多発しています。当金庫では、お客様に「安心」「安全」にお取引いただくために、窓口での厳正なご本人確認や生体認証付ICキャッシュカードの取扱い、ATMによるキャッシュカードの暗証番号の変更サービス、インターネットバンキング等のセキュリティ強化などの対策を行っておりますが、お客様におかれましては詐欺等に遭われませんよう十分ご注意ください。

なお、万一、被害に遭われた場合は以下へお知らせ下さい。

◆カード・通帳等の偽造・盗難・紛失の場合:当金庫本支店または0120-839-939

◆「振り込め詐欺」の場合:振り込み先の金融機関へご連絡下さい。
当金庫本支店または0120-615-120



但馬信用金庫

〒668-8655 兵庫県豊岡市中央町17番8号 Tel.0796-23-1200

<http://www.tanshin.co.jp/>